

盛大に 50 周年記念式典

各界から約 230 人が出席し祝福

寸劇やパネルディスカッションで情報発信も

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 10 月 17 日（水）、大阪市北区のラマダホテル大阪で組合の創立 50 周年記念式典を開催しました。昨年 7 月に 50 周年を迎えましたが、東日本大震災に配慮して式典を延期し、鉄筋の最大径である D51 にあやかって今年改めて開催したものです。関係行政機関や発注者、業界団体、元請企業、全鉄筋傘下の各組合代表など約 230 人が出席し、次の 50 年に向けた新たなスタートを盛大に祝福するとともに、職人不足や社会保険未加入問題などをテーマとした寸劇やパネルディスカッションを通じて、専門工事業界が直面する課題等について問題意識を共有しました。

式典では冒頭、岩田理事長が「職人を取り巻く環境は厳しく、若くて優秀な人材は減少の一途を辿っている。このままでは安心して安全な建物は建たなくなる。今、苦しいからといって、問題を先送りにしてはならない。この式典は我々の実態を知ってもらい、問題意識を共有してもらうための情報を発信する機会として開催した」と述べ、式典開催の趣旨を説明しました。さらに、岩田理事長は「この式典を鉄筋工事業界からの新しい問題提起の場としたい。当組合は新たな 50 年に向けてスタートしたが、今後も社会に対する広報活動を精力的に推進し、建設業界発展のためにまい進していきたい」と力強く決意を述べて挨拶を締めくくりました。

引き続き、組合の発展に功績のあった会員として西岡義克氏（西岡鉄筋工業代表者）ら 10 人に対し、国土交通省土地・建設産業局長表彰、大阪府知事表彰などが行われ、近畿地方整備局の谷本光司局長らから賞状が贈られました。続いて行われた組合員有志による寸劇では、大阪らしいコミカルな演技で「職人不足に悩む実態」を訴え、会場を沸かせました。また「自らの役割をわきまえた上で、ものづくりのためにもっと一体になろう！」をテーマとするパネルディスカッションでは、古阪秀三・京都大学大学院准教授のコーディネートで、国交省土地・建設産業局の榎本健太郎建設市場整備課長、阪神高速道路の鎌倉安博技術部技術管理課長、野村不動産の加藤哲也大阪本店事業開発部住宅建築担当部長がパネラーとなり、ものづくりや品質、保険未加入問題などについてそれぞれの立場から活発な意見交換が行われました。

この後、祝賀会では榎本課長、日本郵便の日高信行執行役員副社長近畿支社長、大阪府建団連の北浦年一会長の各氏が祝辞を寄せたのに続き、全国鉄筋工事業協会の内山聖会長の発声で全員が力強く乾杯し、祝宴へと移りました。

感謝状、表彰状の受賞者は次の通り（敬称略）

- 国土交通省 土地・建設産業局長 感謝状
 - ・ 西岡義克（西岡鉄筋工業 代表者）
 - ・ 原田浩一（近畿施設工業㈱ 取締役会長）
 - ・ 山村淳蔵（㈱山村組 代表取締役）
- 国土交通省 近畿地方整備局長 感謝状
 - ・ 井上馨（㈲井上鉄筋 代表取締役）
- 大阪府知事 表彰状
 - ・ 叶順治（KANO CENTER㈱ 代表取締役会長）
- 大阪府中小企業団体中央会 会長 表彰状
 - ・ 高岡宏
- 大阪府中小企業団体中央会 会長 感謝状
 - ・ 中川六雄（㈱中铁 代表取締役）
 - ・ 森山直樹（㈱城東鉄筋 代表取締役）
- 一般社団法人 大阪府建団連 会長 表彰状
 - ・ 富田勇（富田興業㈱ 専務取締役）
 - ・ 今村俊郎（吉岡工業㈱ 総務部長）



表 彰 式



寸 劇

